るとし

いものです。

えま

預り洵に有難く厚く御礼申|

で迎えた元朝のすがすがし

い気分がらかがわれて心の

方ならざる御愛顧お引立に が明けて、

うございます。

は一居ませ

新年明けましておめでと|

し上げます。

何卒本年も一

お願い申し上げます。

層の御指導と御支援を偏に|あたたまる思いが致しま

な起きよのどけき 今朝

の

てから百年になります。明

今年は、明治と改元され

の年が来ますと「羊み

SANGYO

かは、今から三十六年も同じ、月台~22~~ 生ん時世の中がどんなであつたとして今日の日本を生ん生の句を思い出します。当次々と断行され、近代国家生の句を思い出します。当次々と断行され、近代国家

MIKASA

発行所 東京都千代田区神田猿楽町1-三笠産業株式會社 (292) 1411 大代表

いうことです。

洵に聞くも

いの跡を絶たないと

品品

玉

西部地区

たましいことであり、

争を終結させて、真の世

日韓協定の成立による、

|討が行なわれた結果、

明 百

けるような、

設 機械

日と大阪で開催された。 来は東部地区代理店会と大

いるうちに新製品

好天の十月二十日、

た。正午過ぎ全員

西部地区三笠代理店会は|三笠製品を熱心|

見て戴い

今回はいろいろな事情で延 体同時期に開かれていたが

春を迎え

道

のことですから記憶はして「べきこの時代の記録は、 元朝のすがすがし。味深いものがあります。吾 近い今の状態では、昔から、ほつとした気持 足跡を残したものとして輿 うのに敵も味方も無関心にが、荒つぼい午年 そ日本の史上に最も大きな い人命が失われて行くとい ら から飛行機の墜落事故で狂 解散だのと騒ぎ立てて、 礎を築いて呉れた偉大なるとが未だに、 |て深甚なる謝意を表したい 々は、 と思います。 明治の先輩諸氏に対し改め な気がします。 つて呉れましたが、 昨年は、 一応不景気風は追い払 今の日本の確固たる 荒馬が飛び出し 春早々 批准に変つて昨年の暮は黒を賑わし、一昨年末の日韓 辞職だの審議拒否だの果は らず与野党の茶番劇が年末 い人命が失われて行くと い霧が登場して、 いう死ぬもの貧乏というこ 斯くして日夜次々と尊 当てはまる様 議会は相変 やれ議員

に惨事が続 国民の一人一人にあるのか 何んるを得なくなります。 次々のですから、其の責は寧ろ 山とはといえば国民が選出した 選挙したらよいのか迷わざ 次の選挙にどのような人を しかしこの議員の方々も元 考えて見ると、 こうなると 重箱の隅 です。 として、自民、社会両政党 てやみません。 が、果して勝算はおありなやりたがつているようです の健全なる成長を祈るもの 党に漁夫の利を占められる のでしようか。どこかの政 ようなことのないよう願つ 私は一国民 立四十周年と時を同じくし この近代的な庁舎には管あつた神田消防署庁舎が創事式を終了した。

災害が勃発とうか疑りたくなります。

んでやたらに総選挙ばかり

神田消防署

庁舎改築落成

淋しさを感じさせた。

部部長が健康上の都合で出

つた意欲を代理店の方々

大鉄鋼機商会

(佐賀) 中道機

中商事(大分)

してもらつたことはメー

その製品を通じて理解

として最大の感激であつ

内臓式バイブ

モーター

・コンパ ター

7

=

の京谷社長、三笠建機の安|も自信を持つて売れるとい

どの機種より | ておられたが若いキレイど | 児島)大安産業(宮崎)田他メーカーの | チボチ盃を傾けて歓談され | 商会(長崎)大鉄鋼機(鹿

(インパクトローラー をする長谷川工場長

ンいマた

結局ラ

めの言葉を戴||機工の和田社長、松本鋼機||広田機械製作所(名古屋)

(広島) 前島商店(岡山)

蔵本商店(徳島)宝物産

も現在|心に意見を提出 されてい|産業(京都)松本鋼機(神結局ラ|の松本社長さん等は特に熱|大垣機工(大垣)高石機械

戸)太紀商会(和歌山)中

は多機種、多た。

ーカーで混

約一

が、この80型 広間

この8型 広間に集合し、

記念撮影の

阪) 戸田商店(大阪) 日工

ンマ タンピングラ

ならば|に入つた。最初のうちはボ

後十八時三十分より懇親会|商事(大阪)オノマシン

(大阪) 金剛(熊本) 森谷

一風呂浴びた後全員大 工業 (大阪) 大鉄鋼機 (大 時間で懇談会を終道機械産業(大阪) 菅機械

金属展示会場である港区八一た。

日目は全日本機械

海とい

わず次々

m

もしれません。

例年にない いはじめ、

剣に考えてくれているのか そ国民生活というものを真

多く、

ことばかり なまぐさい 出して、

となく心に

和解の役をすが、やっぱーー・見えま に発生正明できましたが、本年は逆りで進んで を取戻したようには見えま に発生正明できましたが、本年は逆を叫ぶばか 策が功を奏して、一応精気 救われましたが、本年は逆を叫ぶばか 策が功を奏して、一応精気 救われましたが、本年は逆を叫ぶばか 策が功を奏して、一応精気 救われましたが、本年は逆を叫ぶばか はいかりましょう。昨 時になつた の弱体振りにも愛想がつき 予算は、おそらく暫定予算拡大して何 るものだと政府のおえら方 挙ということで、本年度の |ました。それでも景気はど|として二カ月程度延ばされ て、大荒れに荒れた午年に こそのどけき春であつて欲 つと起き出た羊どもに今年 た。そうなると、 ふさわしい幕切となりまし 昨年の最後の締めくくり は、解散風が捲き起つ 一月末選 に改築落成式が 挙 行 され 係者多数が招かれて賑やか より関係官庁並びに管内関るさわしい装備をもつた特 の挨拶があつて、 て去る十月十八日午前十時 内の方々の期待に副えるに

ます。それを解散解散と叫 国民に訴えたらよいと思い から、堂々と政策を掲げて 信頼を失つているというの す。いま、自民党が国民の るつこい手では、国民の誰 のは社会党しかない であつたら、それに代るも からもあかれてしまいま ようか。最早やそんなまだ 府ではどうにもならないの り押し立てて政府にうつた 戦争反対のプラカードばか は御存知の筈ではないで えてみたところで、 気が有つて欲しいもので 権を担当して貰いたいもの の糸口をつくつて政府をリ とし特使を派遣して、和解 芥平和を打ち建てたいもの|日本かちの経済援助第一陣|秀機として高く評価され、 ドするぐらいの熱意と勇 自民党に代つて堂々と政|が提示され、 少しく国民の心を引きつ 政府攻撃一辺倒でなく、 す。社会党さんも、このとして、 北ベトナムへでもどし 何時も何時もベトナム それには先づ以てソ ヒットを打つ 今の政 のです 製MTR=120型、タンピン グランマ 使節団から、 等あらゆる面に於て比較検 で、 に及ぶ建設機械の緊急買付ませた。 ー、グレーダー等十数種目。旬横浜港から無事船積をす きびし 性能、 先き頃、 品質、納入実績成すこととなろう。 各社との 競合 同国の発展に大きな貢献を び延びになつていた。 韓民国建設部に納入され、 今回はいろいろな事情 も含まれて ブルドー 其の中に弊社 韓国賠償一この程Ⅰ商社を経て三十台 設の強力な推進力として大は、韓国の国土復興産業建 の契約が結ばれ、十一月下 これらの各種建

林館林工場長、長谷川春日 ら京谷専務、吉田常務、

部工場長、森課長というメ

型タンピングラン

説明会を終えたが、

であつたが三笠産業、絶大な信用を得た

以下営業部員と三笠産業か|長がその説明に合

はじめ小野常務、岡田課長

り、

長谷川

三笠建機側から小野社長|新製品の紹介、

の実演と説明

る にできて

等々お褒

易い

丈夫

※の交換が行なわれた。和田 、務、吉田常務を囲んで意見 、野社長、小野常務、京谷専 通



/館林工場に於て輸出検査を終えた120型 /タンピングランマー



|午まできれいに陳列された||直ちに懇談会が開かれ、小店の代表者が集合され、正||十六時三十分羽衣荘到着後に十時頃から続々と各代理||石町の羽衣荘へ向け出発、 幡町の元国際見本市一号館|会、 十六時三十分羽衣荘到着後|小野社長の踊りはたいした (80型タンピングランマー と説明をする小林工場長 ・ ツパクターに のバイブロコ で、 五型

の実演

な共感を呼んと る。 だ 地区代理店会 5 ても東部 うであ

懇親会の会場である高|露されるころは宴席も最高 り込み、懇談 に見事なあんま踊りを御披 再びバスに乗 小野社長が芸妓さんを相手 -五時頃、 れては、 はみるみる賑やかになり、経済新聞社、商工れては、急ビッチにならざ 新聞社、日刊建設通信社、 ころにニッコリとすすめら 潮に達した。それにしても (報道関係) 日刊建設工業

佐潟記-

もので思わず見とれ

a a

店(福井) 三洋 (鳥取) 機(富山) 菱銀行大阪西支 (銀行関係) 三

上金物店(富岡)河 金物店(松江) 岡 和田機工 械産業(福岡) (金沢) 白沢商 丸三開発工 森長金属 原田 塩崎 (福

殊車数十台が配置され、

(羽衣荘に於ける懇親会の記念撮影)



(羽衣荘に於ける懇談会にて) 代理店会は終了 年度の西部地区 ろで昭和四十一 を飾られたとこ 達を押えて見事 長が居並ぶ強者 石機械の石橋社 フ大会の方は高 かれたが、ゴル 有終の美



ていた。 は終了したが、あちこちで 二十二時ごろひと先づ宴

明けて二十一日は八時三

半に解散し希望

十分朝食。

九時

者はゴルフ大会

へと出向いて行

と正に圧感だつた。 るもの、笑い倒れるもの、

和の三代にわたり、

売上高|上位を占めて居られること|であつた。

我が社として常に深く

されること明治・大正・

昭されて、

あらゆる産業界に貢献年余、

船舶代理薬はもとよ

直開拓の為、

港湾荷役、

回各地のサブ店に於ても、

く御取扱い下さつてから十

よくその実績を生か

らである。

そして更にこの

を積み出すようになつて が敷設され夕張炭鉱の石炭 されて岩見沢に通じる鉄道

毎年代理店中でも

地に各種工業が集まつたの

耐え忍んで来られ、北海道内営業所は勿論のこと、

という混乱期をよ|品も札幌支店を窓口として

多大なものがある。三笠製なつたのは明治二十二年、

北海道炭鉱鉄道会社が設立

第二次世界大戦、

その間日露戦争、

第で、

特約メーカーの期待は

とで、

活気を帯びるように

開港したのは明治五年のこ

六十有余年の社歴を一々と実行に移されているの

及び営業店舗数に於ては道

至る全国主要都市十五カ所 は旭川市より南は福岡市に

うで大変申し訳けないと思 少しく順序をあやまつたよ

|港取扱量の約五〇パーセン

んの子会社太平機械産業株

のもと四十名の社員が個々

というのだがこの営業方針 に名神高速・東名

連路は完成し東名選・東名高速・中

日本一だと ほめられて

明日の日本の建設に **固い団結** 前進だ

森記

商品は

土を固めるコンバクター | 巨広田機械の

上を計る・和親協力する。

誠実に実行する・創意向|

来なくなつてしまつた。小は花柳界以外聞くことが出

振動機

ーが主取扱品目である。 りバイブレーターとランマ られるが三笠製品ではやは とする建設機械を扱つて居

サイコト(馬鹿ら

等々の名古屋

ゴッサン メヤース(ごめん

(奥さん)

トを占めているということ

ンを上回つており、道内各

扱い量は年間一六〇〇万ト

最近の貨物取り

瀬市)

に楢崎回漕店を創立

は故楢崎平太郎氏に依り、 最古の大商社である。

、ぐ目の前にあつて、

街全体に満ちている。 北海道は北国らしい風情が

さんは、その大通り公園の一特に御取引が深い札幌事業然の良港で、

北海道代理店の楢崎産業を行なつている。我が社と

部に分けて、 ・札幌を商事、

能率的な経営 方をゆるやかな丘陵地に抱

かれ、北西に口を開いた天

港内は穏かで

海運の事業|きた工業都市であり港は三

港によってで

く飾られた大通り公園化行

まことに十一月の

|経営を目指して東京を業務|正十一年で、

市内に入れば、初雪に美し 間空港バスに揺られて札幌|は建設、 度を指しており、

に限られ、

いたことを知らせる が

如

空港の温度掲示板は

明治三十五年室隙町 (現室)その需要を一手に引受けよ。量したというから外国人に

容強化を図り、

札幌に於て

付近に入港し、

はじめて測

うという意欲的な計画が着|見出された港ともいえる。

同社 オリンピックを目指して陣 プロヴイデンス号が大黒島 道内部では来る一九七二年冬季深い。寛政年間イギリス船

(2)

(7

崎産業株式会社札幌支店

札幌市大通り西五丁目(大五ビル)

に着く。そこには北国に着「石油はいずれも日本の生長の空の玄関である千歳空港」する機械類、セメント及びト機は、約一時間で北海道」いものがある。同社の販売羽田を飛び立つたジェッ「売網は、他の追随を許さな そこには北国に着|石油はいずれも日本の生長|内浦湾の北東岸で大平洋へ 他の追随を許さな|である室闎の御本社を御紹 同社の販売 介申し上げることにする。 室隙市は北海道南西部、

熊本、

地でもある。



下町として栄えた歴史を持 清正の熊本城築城以来の城 家具のJIS指定工場だ。

る金剛さんの金庫スチー

12

都ともいわれる様に美しい土塀にとどめている。森の

われる様に美し

静かな町で、小泉八雲や夏

呈している。

梅崎産業(株)札幌支店大五ビル社屋

零一各社とも日本最優秀メーカ めて高く、近代的・合理的|る。 この部門の成長率は極|本輪西一帯に広がってい 電機を主としてお 特に機械関係 地域は胆振支庁南岸の中央 特約メーカー にある絵鞆半島と、 臨海工業都市であり、 の湾口にある北海道第一の 市制を施行したのは大 対岸の その 熊本城は、

の両城と共にわが国三名城・最高の信用・最高の実力 である水前寺公園がある。|置している、創業は戦後の東部には日本三名園の一つ|通の繁華街のほぼ中程に位 として知られている、市の目漱石らにゆかりのある地 大阪、名古屋|昭和二十二年、 金剛株式会社の本社は下 創業は戦後の 最高の人格|当している。

多いといわれる、然しこれ に「肥後モツコス」とい として妥協しないといつた は筋の通らないことには頑 て妥協性に乏しい頑固者が お、質実剛健の気風が熊本 一徹さなのである、 人の気質であると聞く、 なしただけに、 侯以来文武の地として名を えて来た熊本は加藤・細川 「おてもやん」に代表さ いまも その半 特

た。その他鹿児島本線の複中心に位していて、名四国 成し 路の建設など交通開発が急 天草には三角~大矢野~上 れる様に素朴さの内に底抜 さんの益々の御発展をお祈 速に進められてゆくであろ ローズ・アップされて来 けに明るい気質でもある。 観光の面でも大きくク そのお隣りには広田機械さ|これを広田機械の三徹主義|牧インター て五〇〇坪の倉庫を置き、 ある。この太平通りに面し りに近く、交通至便の地で 道路へ出る環状線の太平通 道・国道一号線・名神高速 この上脇町は中川区のほぼ

立してきたようである。
際貿易港としての地位も確り 最後に楢崎産業さんの益|に、本年も宜敷く御愛顧御 々の御発展と、 り社員の皆様の御健闘を切終らせて頂くことにする。 に御祈り申し上ぐると共 新年にあた 引立を御願いして訪問記を 星野記一

日

本

機

材

I.

業

株

式

会

社

を増し、同社の偉大な底力を増し、同社の偉大なに対しても信頼度協

を目のあたりに見せられた一立以来、

致しております。弊社も創 協力によるものと深く感謝

メーカー

の方々の

重にメーカーの方々の

金 剛 式 社

熊本市下通一丁目七番十八号

の左側線路添いに白い鋸屋 仙を結ぶ観光ルートの中継 上熊本駅に近ずくと車窓 古くは火の国といわれた 今は別府~阿蘇~雲 にあるので、 の一つに数えられ、 か、清正手植の銀杏が城内として認可された。本社丁 歳月を費して、 城郭を改築したもの だと|日本工業規格表示許可工場 加藤清正が六ヵ月の 慶長十 を社訓とし御発展を続けら

日機会館は我が社の代理店|事務所に一歩足を踏み入れ|カー

K

威風堂々とそびえ立つ

られ、現在に至つている。

る御姿に接したと

をして心強い

感動を与 き、メー

より当社製品の販売にあたて、社員御一同の

に出る。その両国橋の西袂

を走らせれば、大川端文学 歌声が流れる師走の町に車

MERRY·Xマス

0

本機材さんの居城である。

橋社長自ら営業の た瞬間感じられる

事は、

高

一糸乱れ

同社は高橋久造社長が昭和一立たれ、

として御活躍されている日|

中央区日本橋両国三番地(日機会館内)

でその名を知られた両国橋 三十二年に創立された当初 チーム・ワーク

形態や旧士族屋敷の石垣や|等が県庁や市役所と共に市つ、往時のなごりを道路の|役所のほか、中央出先機関| ョン化された近代設備を誇 土櫓と城門だけが残されて 熊本市は、慶長六年加藤|出来上つたのである。 あつたが、其後のお城ブー 時の建物は全焼し、其後字 経済同友会幹事等々十指にる。明治十年の西南役で当 工業クラブ代表幹事、熊本んでいるという こと であ 抱える谷脇源資社長は熊本 にあるため九州を管轄する ムで現在の立派な熊本城がる、御多忙なかたわらスポ 熊本市は九州本島の中央|なか御堪能な由承つ 銀杏城とも呼場の従業員総数四○○名を 旧千葉城の|をされて昭和三十九年には 余る公職も兼ねて居られ真 る。 に精力的に活動されて ーツとしてはゴルフもな 工場は数度に亘る増設

千平方米の敷地に西日本随 根の工場が見える。三万五

と称されるオートメーシ

上通の商店街が発達し賑を 暖房機等々の多きに亘つて 第二営業部建設機械課が担 知られた、 同社切つての敏腕家を以て は金庫スチール家具等の 金剛さんの主な取扱商品 このうち三笠製品は 鷹尾部長の下に 自

肥後五十四万石として栄

広

田

機

械

製

作

所

名古屋市中川区上脇町二の七

は、見当の目ののでは、というには営業所と工場があり本一木建設用諸機械の製造販売「イブで、金は持つ島を結ぶ天草架橋が本年完」には営業所と工場があり本「木建設用諸機械の製造販売」イブで、金は持つ であり、 社は中村区笹島町にある。 田機械製作所に着く、ここ |走らせること十分余りで広||営||という平凡にして奥深||しろ生粋の名古屋 中川運河に沿つて自動車を に到着する。名古屋駅から のお城で名高い名古屋の駅 覚ましい発展ぶりを見せて 大工業地帯の一つとして目 わずか二時間で、 いる、中京工業地帯の中核 ら「ひかり号」で下ること 東海道新幹線を東京駅か|長も広田社長が兼任して居|を作り、 熱田神宮や金の鯱多いと伺つた。 日本の四 られる。 い言葉を経営理念として土性の強い勤勉家と る少し前である。 昭和二十五年朝鮮戦争の始|根性江戸ッ子気質 ンチ等の自社製品をはじめ にはお買上げになることも の性能の良さに惚れて、 になつた方がその評判通り に志され、 広田機械製作所の創立はる名古屋は、 スもやつて居り、 ミキサー・ウイ地味な人が多い、 「堅実経 混成されたものよ 次が強く酒もまたお れた。 東京と大阪の中間 豪というところで せて社会への貢献 いると広田正男社 アノナモ(あの 社長御自身 社業を発展させ併

ているが なさい) ねし りも、 弁も今で 人は封建 の双方の しい 1 12 7 (二三笠製品 広田小唄 ⊖ねむい朝でも 見送られ 今日も元気で 我が職場 友の待つてる とび起きて お早くと (御座敷小唄 いとし家族に の曲)

広田機械製作所営業所及工場



長は話さ

に努めて

画されよう。将

めの諸施策が計

であり、

そのた

はゴルフ

強い、

酒

商人のド に位置す あろう。

る。

小唄を御紹介す



日本機材工業(株)日機会館ビル社屋 うございます。 頂きます。

ご活気溢れ するとともに建設の機械化 はこの上なく有か保 た れ 手メーカーの代理権を取得 品を販売させていぬ完全な 界の機械化に対して全国大 出されました、第一線に 資源開発、ダム開発等、業 の粋を集約され 促進コンサルタントとサー 居ります。 するとともに建設の機械化 はこの上なく有難く存じてするとともに建設の機械化 はこの上なく有難く存じて ビス業務とに日夜健闘を続 である。 東されており、又我々も等|又同業他社の追随を許さぬ持を得て飛躍的な発展を約|方、他方におかれましても需要家各位からは絶大の支|場確立に御努力 される| 動力ともなつて道路整備、 営業所を有し近代工事の原 に厚くお礼申し上げます。め、大阪、新潟、小田原に ことになりました事をここた。同社は東京本社をはじ て、十年目の新春を迎える しくこれを認めておるもの 技術開発に御努力されて居 けられて二百社余を数える|及ばず、 ような気がするのであつ|御理解と御協力を頂きまし 次に高橋社長から|られる事を考え合せ 小田原にことになりました事をここ 業の粋を集約されて、 気ばず、東南アジャにと市 貴社は国内市場はいうに 私共創立以来貴社の技術 十年目の新春を迎える あらゆる製 市場に

りましたので、掲載させて は、三笠産業製の優れた商新年の御挨拶のお言葉を賜と、私共商社と致しまして ては、国策に依る公共設備|御発展と社長さん以下、 界に関係ある者と致しまし 終りに臨み同社の今返つてみますに我々建設業 たく思つております。」らございます。昨年を振り え、なお一層の努力を 「新年明けましておめでと う販売することが使命と考 品が国土建設に寄与するよ 発展と社長さん以下、社終りに臨み同社の今後の なお一層の努力を致し ます

予定のプレジデント

飛行場に到着、

関谷産業の

にする。

るので今回は省略すること 再度に渉つて報ぜられてい 海の日工展に臨んで」でも

家並が映ると早やくも啓徳

た高低さまざまな香港の

京谷氏に出

迎えられて、早

十五日午後五時三十分、

程離れた郊外の会場へ行

会場周辺や場内は明日

で市の中心より約十二キロ

につ

た東洋綿花の野田氏の案内

とはなしにそれを見終わる

と間もなく香港到着のアナ

機はグングンと高

ま」にも、

高野係長の「上

に幸だつた。

印象を先の「中国見たま 復四日間程滞在しその折の 北京出張の出入国の際、

度を下げる、

窓外に、密集

馬車)

の上映があり、

見る

機上で昼食後に映画(駅

香港の計画を変更した。

香港については既に昨年

等を自動車で視察した。 路事情など各地の建設状況

そ

して第三日は納入先のP

G社、K社等の現地ユ

新聞、ラジオ、

を訪問することに在

との国境附近や、途中から新租界を廻つて、

途中の道

中国

という真夏の暑さである。 のにこちらは何んと三十度

に到着する。機外はむつと

時間半程でパンコツク

空港

ている。しかし日本で感じ後の仕上に追い込みをかけ

国連アジア極東委員会(エ

販売の実態調

查

歩

が深まれば深まるほど使用によつて同種機械への認識

宣伝や、

PRにはげむこと

あつたと思う。

二十日、連日の猛器とタ

力をお願いして、

ミングのくるい

(これは

に大いに役立つ良い機会で

ット機で香港を離れ、

|装飾されたマンダリンジエ||開場と言うのにいたるとこ

ろが未完成で、

雕れてわずか四時間と言う

ルに向う。

初冬の日本を

よりCAT航空の中国風に 夕闇に包まれた啓徳飛行場 ものである。

出発日が日曜日にも拘ら

SAN

の磯部係長二人エー

ルフラ

送りを受けて、

ンス機で羽田を飛び立つた

のは、

十三日の午前八時で

あつた。

(羽田東京国際空港にて)

出増進に大きく役立て行く

が、今回の出張が今後の輸

ことを思うと意を強くする

東南アジアを巡りて

会場共殆ど展示装飾が終つ

ス、

フランスなど

ことに、

それぞれ分担を決出来た。

十九日

|空港ビルでは住友商事の高||場を挾んで海側にエリザベ|| て丁度良い気温、モダンな|| ダンと呼ぶ美しい芝生の広

えて呉れた。夕闇に包まれ|木に沿つて続き、

意外に涼しく夏服を着てい

に面した一

緯度は赤道直下と

言うのに

間を割いて市内を歩く、

に面した一帯が官庁街でバ間を割いて市内を歩く、海間を割いて市内を歩く、海

招きで夕食を共にする。

約二時間で空港 に向かつ

に到着、

市内の販売店はその殆ど

ナコンカセムと

イギリ関する調査

日本館は第一、

第二の両

じめ、アメリカ、イギリどアジア諸国十六カ国をは

には驚かされた。 のんびりとした仕事

カフ

で参加国は日本な

3

磯部君は見本市で機械

の実演、

ンコックで開催される

モータースのマネジ 先き頃来日の際来 面識のあるステ

一二機種、

の輸出促進のための市場調 況や販売流通機構並に今日 立寄つて、 た三笠製品の展 /ジア国際見本市に出品 術指導等を行なう機会を 東南アジア各国に 納入機の使用



査等を目的に、

バンコック、

(香港島中心街を望む/ビクトリアピークよ より は今回の現地協力商社バン コック

かる。

変りがない。

これ等の店の中で比較

せに売つて居るのと殆ど 器具商が同じ品を隣り合 様子は恰も秋葉原の電気 狭しと陳列販売している

を始めた。 ところが、 ての連絡がグランド 宛になつているので実に困 ルに投宿、それにしても全 された道路を突つ走つて市 定のグランドホテルに泊れ 中に入る。何の手違いか予 氏の運転するブルー プ氏が出迎えて呉れた。 で約四十分、見事に鋪装 やむなくレックスホテ

ホテル

|吉田常務始め、社員多数||つたとのことである。そう 私と技術部 国でも祝祭日が土、日のよ 月曜に繰り越されるのが常 うな休日と重なつた場合は り越されて明日の月曜にな 第一次大戦の終戦記念日が らは明日も休日だと言う、 識であることを思い出し、 今年は土曜なので休みが繰 香港が今だに英領であり英 安心した。 部屋が確保できてほつと一 ルに電話して呉れた。 ドホテルに部屋が取れない 共同通信の宮川氏の紹介で 店の主人の水谷氏にグラン 此の地の顔役と聞いて居た ホテルに長期滞在している したら何んと、 かとたづねたら、早速ホテ ンに届け食事をとりながら ザインをミズス・レストラ つた。そこで本社のデザイ 永井氏に依頼されたデ 幸いにも同

状態とのことで、特にグラ ホテルが建築され次々とオ るアジア競技大会に備え の見本市と続いて開催され もどこのホテルも超満員の ープンして居るが、それで 続々と現代的な大きな ンコック市内には今回 屋の大使、エカフエ首脳お が出席され、また参加各 ためく中に数千羽の鳩が放 陽の下、会場中央に設けら 式が行なわれた。 たれて華々しく開幕した。 のあと参加各国の国旗が 国王の荘重な開幕の御言 よび日本から粕谷大使、 国王ならびにシリキット れた貴賓席に、 の他関係者多数が出席し、 十七日午後二 フミフー 灼熱の太 から開

MIKASA

しまつた。

仕方がない

ので

第一日は香港島内各地を見

第二日より九龍半島

妙なことで感心させられて 本国にならつて休むのだと 国の統治下にあるので、

ンドホテルはアジア競技大 (の一部) (日本館内の三笠陳列場) 機等の重工業製品を中心に

会場内最大の敷

ン製や、

往|国すると言う偶然のチャン として色々と協力して頂 の連絡を受け取るのに非常 ることが出来たのはその後 つた。丁度TBSの人が帰 道関係者で殆どの部屋が占 会のメインスタジアムの真 スに恵まれたのでここに泊 められているとのことであ 正面に向い合つて居るので 十六日は出品の窓口商社 テレビ等報 を展示し、 十度近くにはなつてい 位いだつたから恐らくは四 ヨリとしみ通る程で、 下着を通して背広迄ビツシ あつた。 を広くタイ国民一般に認識 地を占めて日本産業の実態 百九十社六千点に及ぶ品物 タイも結び目がほどけない して貰う様努力したわけで それにしてもその暑さの

いことと言つたら汗が

ネク

たの

各国とも最一協力を通じての平和と繁し、 の名称は「第一回アジア 栄」をそのテーマとして、 際見本市」と言い 加えて見たいと思う。正式|は行動を別にして、私は現 主催はタイ国政府、 さてここで、 いて少しばかり説明を この見本市 後援に 「通商」と共に、 国地の各デーラー とれて 通して毎月のように輸出さ ではないかと思われる。 十八日から私と磯部君と 現在、 いる三笠製品の評価 或いは単独で訪問 数チャンネルを を商社の人

速吾々は点検整備に取りか 分けて展示されていた。 場の東綿バンコツクモー の商談室を挟んで、 パクター二機種が小間中央 ローラーと共に振動ロー マー三機種、バイブロコン ーザーや渡辺機械のロー (内の日本館陳列場 /バンコツク国際見本市) スの小間に小松のブルド 我が社の機械も第二会一西欧諸国、 タンピングラ 両側に 早 ドなど共産圏諸国等合計四 ミプーン国王とシリキれるバンコック国王プー開幕式のお言葉を読ま ソ連、ポー 機械工具商が軒を連ねて、 が華商で、 めて動き出した。

同じ様な商品を店内

見本市を除くとアジアで開十カ国が参加し日本の国際 日本も特に力を入れジェト 見本市である。それだけに ロを通じて自動車、鉄鋼、 かれる初の大がかりな総合 イ国美人達 かせたタ 産業機械、 電 並みに各店を廻つて見たが ンシン社の六馬力エンジン ットは殆ど45型が多く、 二種類があり、シャフト に加速装置をした可搬盤の 的大きな店々でバイブレ ス社の三馬力とウイスコ のだが原動機はブリツグ ーターが販売されて居る

建設機械、

見られなかつたのは嬉しか 式の方が断然多く使用され|あつた。何しろ遠く社用で|ようにした) り、 つて居る程度で、 ンマー だけだつた。タンピングラ なく僅かに二ヵ所見かけた ざされていても限られた日 については未だ余り認識が 店で見受けたが、エンジン 殊モーターは二、三の販売。くの間は次々と村松専務の 皆区々のようであつた。特 つた。しかし輸入ルートは かりで他社製のものは全く どこへ行つても三笠製品ば 一十台程が納入されて居」いので、 いるようだつた。錐振型|異国にあつては如何んとも は西独品が若干出廻く、 追憶に思いをめぐらすので判つたので乗る前に決める 成し難く、心は悲しみに閉 な気持におそわ

頼んで王宮、

ガポール事務所を訪ね。三

ら先ごろ8型、10型合せて一に止まることはゆるされな のものが展示されて居たの 頭バンス 又見本市にもスエーデ ドマシナリー社の店 オーストラリア製 各社が競つて 我が社か はいつまでもその想いの の訪問を続けることにし た。しかも灼熱の陽光の下 崎支店長の招きで、 ではなんともつらい一日で 昨日に続いて現地デーラー 店長代理、野田氏と夕食を あつた。その夜、東綿の宮

程の中で成すべき仕事は多 の進め方について話し 共にしながら、今後の販売 的な売込み方と、 しかも土曜日とあつて 今一歩突つ込んだ積極|豊かさと規模の雄大なこと 気を取り直して、 小沢支 合 の一つ一 (バンコツク 大理石寺院、 メラルド寺院) 黄金仏の

法等に

交換の出来たことは、今回 新たに強力なる新販売路線|境を作つていた。 従来からのラインに加えて| の見本市出品を契機として| 存分な現地に於ける意見のく、 の協力とを要望するなど、 相互の連は想像以上のものだつた。 層約三、 路樹が連なり気持の良い環 の官庁街の通りは両側に街 と趣向を持つて居て色彩の いて、特に大理石寺院附近 つたが、 しかも良く舗装されて 等を見て廻つたが、 四時間市内を走り廻 主要道路は充分広|る。新規に つが異なつた個性 要請、又A 売組織や取 扱い商品等 ラルンプー は全てクア 品について 取り扱う商 明を受 について説 又 A け

絡情報の徹底と併せて一

半のBOAC機でシン た各商社を訪ねバンコック 滞在中のお礼と今後の御協 二十一日は御世話になつ 地を訪ねるので、 し、その夜は高木 輸出課から高野係長がその | 軒を連ねるシエントン通り | つた。それでも食事を済ま となので、 ルの本社で決定す 数日後我が社の |我が社の||ソン通りや、美しいビルが||む迄はさつばり落着かなかるとのと||商事の事務所のあるロビン||で、その店の雰囲気になじ その成果|等が市の中心街の様に思わ|せて、ステージから流れ つことと れる。出発の時間も迫つた ラテンリズムの音楽と、 所長のお のでホテルに戻り空港に向一本の歌をラテン風にアレ

称ばれる一帯に大小各種の|る。出発の前夜御見舞にう|寺院巡りをした。 機械工具、モーター、ボー心の底で懸念していたこと ウインチ、電動工具|其の知らせを受けた瞬間、 胸査、研究を受持つよいとの確信を持つことがは至極のんびりしている)各国館の展示品にあり、将来はデ治財待して、それとの利達 ないまり 小型コンプレッサ が、厳しい現実となつた今 化、美術、伝統の結 胸の中を一杯に締めつけ 悲しみに打ち砕かれ、形容 私は何んともいえない深い |専務の死去の報せを受け取||午後の時間を割いて市内の||木所長と篠原所員とが出迎||ス遊歩道が美しいヤシの並 者も多くなつ しがたい空虚な或るものが 綿のテレツクスにより村松 全身の力が脱けたよう それ以来づうつと 住友商事と東|報せ等で、 ることで 晶でぜいを尽してあ |寺院は幾千年にわたる文|て、市街へ入ると、 と言わ その上、 ればバンコツク芸術 も疲れてはいたが、日曜の つても過言では無い のすべてを見たと言 日本の時間 仏教国タイにおいては、 有名な寺院を見 れて居る。 村松専務の逝去の 少々神経も肉体 に言え 地地の (バンコック大理石寺院)

かがい、

(バレス) テルの前で客待ちし の白タクの様なもの ていた黒タク(日本

しばら | 私達も最初の夜は相当ぼら れたが以後は大体の標準が と相当に高いことを言う、 のつもりか絶対に使用しな るがこれは一種の営業免許 付けている一種の非公認ハ で黒のナンバープレー で決めるが、旅行者と見る い、料金は運転手と話合い いる。メーターを付けてい ブレート日本のコロナとブ ードが大半を占めて タクシーは黄色の トを ルに着く。 のだなどと話し合つている住宅問題は社会的な課題な 社アパートの如きものであ な眺めである。これ等のア 裡に早やくもキャセイホテ るとのこと、何処の国でも が建ち並んで著しく対照的 に露店などが見える。 かと思うと、高層アパート にはらす汚れた家並と処々 二十二日は住友商事シン ートは我が国の公団、公 そう ルタン

むり

を時間決めで| 笠製品に深い関心を持ち先 エメラルド寺|き頃来社された現地有力販 案内で訪問、 宛に納入した8型タ アラルンプ 売商社アングロ・ア いサンブルとしてク ール支店を篠原氏の へ役員チュー メリカ社のシンガポ マレー ル本社

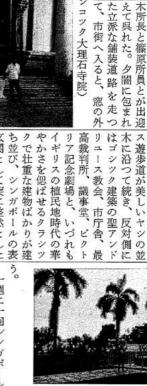
種との比較、 性能、特長、 ンピングランマーの て率直に一ていた。この広場から住友一に応じることにした。 販売方 るので買物客等で大変賑つ 付け、 競合機ングセンターを形作つて居し合つた結果、 氏と逢|国の極東に於ける拠点とし ジネスセンター、 ショッピ



て午後二 夕閣近づくマニラ空 時半離陸、 南シナ 約三 ĸ



P



リア記念劇場と、

たたづまいをしている。 玄関として実に整然とした ち並び、シンガポールの表う。 クで壮重な建物ばかりが建 かさを偲ばせるクラシッ そ

こから中央郵便局、

からマニラへ直通で飛ぶフ

年にわずか六○万ドルでサ LM)が運行している。ゆくと、この地を一八一九 飛行機もオランダ航空(オド桟橋を抜けてしばらく イホテルから海岸を望/シンガポール、キャセ/ から買収して大英帝|の出発が予定より大分遅れ クリフ イリッピン航空のジエット 時間、夕闇近づくマニ海を一直線に飛んで、 港に安着した。 機と言つても事務所もなく

部君とが両社の車に別れて ホテルに向うことになっ た。そこでひとまず私と磯 と言われて困つて しまつ 社の社長アテンデイド氏等 イグリ・インダストリアル レーデイング社のゼネラル ているエクイプメント・ト 既に相当数輸入して販売し マネジヤーユーメル氏や 空港では振動ローラーを

是非自分の車に乗つて呉れ ところが次ぎに夕食も あれこれと話 両社から

ンガポールラツフルズ卿銅像前 付だけが、

ニラの夜は危険だから充分 くの明りだけが照明で、 と光つて少々気味が悪かつ ツピン人特有のするどい目 た瞬間ほとんど真暗な感 の店内は薄暗く、 案内して呉れたレストラ なにしろ出発前からマ ラテン系の強いフイリ いやにギラギラ ろうそ

すつかり驚かされていたの に気を付けた方が良いと、

のシ が 一ル海岸通り) る、

アスフアルト・

兄が経営されているユー

ル・ブラザース社を訪

たイグリ社を訪問、ここはやむなく御招待をことわつ

問題に焦点がしぼられた。

まるので、

夕暮れの美しさ

台を輸入して積極的な販売 を持つ同店は最近再び数十

イリッピンには各国のバ

話は製品の品質と代理権の一行場へ行く時間は刻々とせ

実績を既に挙げて居るので セットを輸入して相当量の 毎月の様に錐振型シャフト

来訪を待つたが連絡なく飛り、ジャニイ・ザモラ氏の

交換をか

わしホテルに戻

に就いて忌憚のない意見の

謝して別れる。

行を訪ねる。三笠製品の輪

界で最高でし

かも最良であ

るから是非代理店として認

動筒に関する限り三笠が世|間に合うことが出来たが、

販売して居る店に案内され あり余り深入りも出来ない

を製造一行の台湾三笠設立の話しも

てその製造工

程や製品を見

いうことにした。

何れ帰社してからと

見せてくれた。ところが振一飛行機の出発が遅れたので

それらしきものを、港へと送つてくれた。幸いのことであつた。 その後して修理に応じて、らロハス大通りを一気に空量の販売増が期待出来ると

のことであった。その後

のを製作して修理に応じて

又部品も各社のも

ると、

等々各国の振動筒を準備し

テル前の自家用車を飛ばし 急がなければ遅れると、 氏が来訪して、

水

台湾各地の建設業者の絶大

笠は名実共に一

流品として

真紅に染まつた海岸か

由に輸入出来れば更に相当 な信頼を博しているので自 ピプロ

ヘルケン、ウエイコ

ジョンソン

けて居ると言い、ジャクソ

訳をしてくれたカイヤビク

んどが自分のところで手掛|社々長アテンデイド氏の通

が無いので殆てマニラ到着の際、

イグリ

売も制限されたものに成つ

て居るとのことである。

可されないのでおのづと販 からの発註証明がないと許 だに輸入が制限され需要家

来るデーラー

ブレーター

が入つて居る一夕映えを前にしながら落着

で有名なマニラ湾の真紅な

をして

いるが、

何分にも未

かない気持で居ると、

かつ

修理や整備を充分に出

た。嬉しいお言葉ではあつめて欲しいと強く要望され

長が待ち受けていてお見送 つた。空港ではイグリ社々 本当に危機一発の時間であ

お他でも二、三店作つて居立た低いように思われた。なべせて貰つたが、精度は相当に

商仕了DMの陳氏のお招きつなは大振興への輸出窓口 毎

モラ氏の友達で、当夜は特|社を訪問した。 色々とK商事と現地デーラ 戻つて来た。これらの歌は かも一番物騒だと聞かされ であつた。異国にあつてし の夜も同席のジャニイ・ザ 側面から援助して居られそ|をすることにして一先づお 歌手のエレナさんが、 ジした曲に耳をかたむけて 々を歌つてくれたとのこと に私達の為に日本の歌の数 提供して私達の営業活動を|る機会に具体的な話し合い| いる内に、 く日本の歌は印象深いも との間に立つて、 レストランの片隅で 自然に落着きが マニラのほ 今迄|ないタンピングランマー 別れし、 氏の自宅で手造りの純粋な 動ロー 来なかつた。夜は再び昨夜 地に未だ充分普及されて居 在の為め具体的な話しは出 かつたので、 販売促進に協力して貰い に引続いて今度はユーメル いたが、生憎と責任者が不 ハイプレーターよりもこ それにこちらとしては ラーに関心を示して 其の足でフェスコージア的なものと、 近く来日され ここも又振|ものとが混合して他の東南|れたが、 0 となく活気に満ちていてア 動車の窓から眺めるだけだ。ダウンエ なく走り廻つたがいつも自|にノック 日だつたので市中を何回と 後七時十 つた。それでも市内は何ん アジアの都会とはまつたく|後日検討した上返答するこ (マニラ マニラではこんな様な毎

西欧的な申し込ま

場を作ら

ないかと

代理権を是非任せて欲しい と膝詰めの話しが深更まで 食事を済ませてホテルに戻 ユーメル氏 話し合いを続け契約書の原 ホテルに戻つた。 返事をすることを約し深更 案を作り帰国後再検討の上 になった。其の後で、 フイリッピン料理を御馳走 ーの代理権について 振動

早速振動ロー

国後回答するということに を申し込まれましたが、帰 る。ここで技術提携の話し 等を製作しているサルモン プロツクマシン、 二十五日ジャニイ・ザモ 工場を見学 ミキサ ウインチ すがび、 テ地区では高層建築が建ち デザインは特に印象的でア メリカ都市の姿を思わせる 異つたモダンな雰囲気を感 ものがあつた。 画に基づいて開発を進めて じさせられた。 いる新都心と言われるマカ その超近代的な建築 特に都市計 えればこれも有効な一手段 つていた。台湾の実状を考|完成した大博物館で、中国売を進めて行く考えだと言|立故宮博物館は昨年の秋に 世、

達貿易行魏氏ント本社前にて

一印象的だつた。台湾随一となった。

言われる淡水ゴ ルフ場のクラブ

ると雪がちらつき、

このこ

あるが、

十一月の始めにな

々は九月中旬に行つたので

すませて台北に

今度は南

ハウスで昼食を

古釆の貴重な文化財が陳列

その繊細な工芸品や

ドにて、ラ、

・社長夫妻 シリー社前)

社を訪問、

少々まいつてしまつた。

ラ氏の案内で、

の御熱意もさることながら

いたのには、

た。午後再びイグリ社を訪 時半を過ぎて居るので真直の様な状態に見 受け られ る。現地時間では夜の十一殆ど人影も無く、開店休業 由に通じるので 楽に 話 せ 問し全品目に渉る三笠製品 イストリビユターを製作し して辞去、ユーメル氏の令 て居ると言う話しだった 倉庫の様な工場には、 ね 氏とは六年ぶりの再会で、 林氏の出迎えを受ける。 が強くて急に寒さを感じさ 港に着陸、小雨まじりの風 ぐ宿舎に入り出迎えを深く 何んと言つても日本語が自 せる。信達貿易行の魏氏、 三時間の飛行後、 台北空 魏

入では最も古くからの実績。貴重な質問が多く大変参考」ちが写真を一緒にとろうと 二十六日は先づ信達貿易 用時間が記録されて居り具 る。私達が歩いていると正信とて別れる。 るので、実に良く機械の耐 イヤル踊り等を 見せて 居に入り出迎えを深く い。ここでは賃貸をしてい があり、小屋掛けをしてタデキを過ぎて居るので真直 と考えられない こ とも なくと、ここに高砂族の部落 体的に品質その他について一確な日本語で著社の少女た しも出されたが、 になつた。又技術提携の話|話し掛けて来る。 (国立故宮博物館前にて) 信達貿易デル代を貰うとのこと、 りの深い顔が美 撮つてモ

故ですかと問えば、それは

前記の両社を訪 真では写らな 谷のこのあたり 秋の日はもう溪 としてカラー写 に薄暗い影をお い。残念乍ら 二十八日は

ね在台北中の御 (青森市深浦與業前2)

は して陳社長、魏氏、林氏、十七 して陳社長、魏氏、林氏、十 をつたす。有アジアの旅を終え生きつたす。有アジアの旅を終え生きったす。有アジアの旅を終え生きったす。有アジアの旅を終え生きったす。「京谷達也記」の 礼と両社の今後 の協調をお願い に育つたとは云え雪に閉ざ のだろう。 育つた者には本当の雪国の される程の事のない場所に つてどんなに忙しく働いて 小生の様に山国|と願う反面、 い様、 下さつた方々が ことだろう。

生活は興味深い、 と思う。 閉ざされている事 九月下旬に納入し た。 しようがなか 今冬が来てあ

おそらく

られた。

土地の人の心を押えつける一発展に少しでも役立つ様に いてもこんな気持がいつも一笠のローラーがこの土地の 答えて下さつた、大地に向一の中に閉じこめられている にしかに閉 生活の素朴さを失わな 小生は願つている。 たローラーも倉庫 どう あの時語つて一対しては何時も万全なるか かこの三 つま でまえで えをお持ちで、

年々の部

高砂族少女の踊り メャラバン便 11 其の二

ラ機で台北に向う。

合つた時

現地

分CAT航空のプ

社長の林

氏と話し

森 県 下 実施期間

深浦の茶ばなし 九月十二日~十七日) 北第一の近代都市として生。く東北の一大動脈北地方の表玄関となり、東一発に行なわれて居

まれ変つた。今回は当地の

べき東北自動車道の建設等

私の会社に東北出身の社

とも云うた。

る。尚近して行かなければと思っ 動等も活|て代理店の要望に対し善処

に各代理店の皆さ

心地として発達し、現在東仙台は昔、広域行政の中

新産業都市指定運

宮 城

県

下

(実施期間九月十九日~)

十四日)

ビスカーで青森市よりたつ 日本の田舎町である。 は雪に埋れて暮す、 交通の便は悪く一年の半分|生には聞えた、さらに奥さ 結ぶ五能線の中間に位置し に面し、 ば青森県に於ても日本海側 この深浦は地理的に言え|じこめられた忍従の積み重 能代一五所ケ原を 所謂裏 とく冬の長い期間家族の生 国の女の情の深さを示すご んの話しを聞いていると雪 な楽しい暮しがある様に小 には意外に明るく、 ねにちがい ない様だがそこ 心豊か 市場占有率は非常に高く、 たが、日頃代理店の方々の 負を頂いている親和機械工 御協力のお蔭で三笠製品の を巡回PRした。 業さんのお招きで宮城県下 |三笠代理店で古くからお贔||これから益々発展する東北||員が三人ばかりいます。

仙北を重点に廻つてみ

つている。

巻に向つた当地にはやはり 械さんの巡回PRを終り石宴に、

れると、必ずといつてよい

仙台地方の人が居ら

主に仙

|械販売をして行きたいと思|が態々上京され盛大な結婚

仙台での親和機一式が挙げられました。披露

に国土開発に一役買つて機|されて御両親や親戚の方々

んと一緒 の間其の内の一人が、結婚

ロハス大通りを望む

行に向う。ここは一生と呼ばれる女性が皆若く

二三年前から積極 て美しくその行き届いたこ

販売店大振興機械|食事をしたが、

接待の服務

とを約して、

他の

つて五月花酒家と言う店で達貿易行魏氏、林氏も加わ

ぶり四時間はかかつた、我|命をあずかる自負心という (青森市深浦與業前1) ものが食べもの等 寄つた時話しが のある業者に立ち だつた。等々深浦 をくだいている様 ずみこの雪深 について非常に心

(仙台市マルヲ工業にて)

を主体とした講習会を山木一十六年七月、 る。当地では主に修理整備。この唄は、

商事さんの石巻出張所があ一謡をうたわれるものです。

二笠の代理店である山木屋|ほど、さんさ時雨という民

それによつて徐々に販|所を見物させて貰つた。

国

者に機械を普及さの案内で、台北市外の各名概を通じて中小業 うのにわざわざ魏氏と林氏がを通じて中小業 うのにわざわざ魏氏と林氏上げて居る新進気 れてしまつた。

械を精力的に取り だけのことはあると驚かさ ーその他の建設機|流石に国民政府仕込の中国|的にバイブレータ|まやかなサービス振りには

的にバイブレー

ろ降る雪を風花というそう|身がアッと言わされる形と 我社のMRV 行つている はずの 我々自ーの話しが決り本来商売に 0 を聞いている中に 年間の生活話 型ロー

と、この家の人は言う。何 事と同時に人と人の心のふ吐息が出て涙がこ ぼ れる こに来てローラーが売れた はアッという間に過ぎ去りそれ以前の雪国の話しが縁 ここに住んでいるからだと が当時者でありながらこの故ですかと問えば、それは れ合いを見せられた事自身 するとき何故か胸の底から|だと思つたものである。 めると冬将軍に備えてどこ の話しが煮つまる、ここで 九月に入り日が短くなり始となり百万以上のローラー も加わり冬仕度に夢中にななっていたのである。ただ じりの冷雨に激しい季節風活の話しを聞く事に夢中に ち着きがなくなりみぞれま。自身はこれら土地の人の生 もうその頃から空に落なつた、というのは小生プレ やつと来たと思つた夏カタログを提示しただけで のは物事を語り合つた後腹 の中で親和感が生れるもの 田舎の素朴な感情というも 小生がつくづく思つた事は |ランマーが力強く働いてい は、 (山台コンクリー るものとして保つていくに 工業現場に必ず三笠バイ 代理店とメー 今後この市場を確固た ーター三笠タンピング ト工業) カーがし

国鉄の花形とも

いうべき

新幹線が、愈々大阪から岡

ぎてウライへ行

の家でもあたふたと心忙

空の青さ、

美しさに、

放心

晴れた日にはふと見上げる い日を送つているのだが、 て新店碧潭をす ト道路をつ走つ しいルーズベル ないと言う素晴

へ完成して間も





時間東京岡山間を四時間で ると新大阪一岡山間を約一

延びの遅い東北地方であつ ければならないと痛感させ いに機械工場を建築中であ ス(修理面)に進んだお いものがある。中央に比べ 親和機械さんではサービ 建設業者よりの要求に いられるご実体心強 現在国道沿 山 明石、 事のうち、 駅は、今のところ神戸、西結ばれることになる。途中 四十七年三月とか、そうな たようである。全線開通は

工事のうちに、

ネルが相当数あるが、それ

東海道新幹線にもトン

姫路、相生の四駅

牛口

するとのことである。 予想されている。それだけ ネルがあつて相当難工事を ンネルと八キロの帆坂トン ロの神戸トンネルがあり、 又相生―岡山間五三キロエ 番長いトンネルとなる一三 にも芦屋神戸間の三〇キロ の六甲トントルと八キ 四キロの相生ト わが国で一 次号俳句募集 1人 5 句以内 ハガキ又は便簗縦書 当季雑詠 1人 用 3月20日 締 切 社外からの投稿歓迎

○印には薄謝を呈す

クラツカー揚げて若やぐ クリスマス 選後吟

愛るムや憂きこと多き年

○白椿ふと綻ぶを見て通る (評) 白椿という花はない。白椿という花はない。白椿ところんだたま/への白椿がたかけたすたまがは果して音がられて面白いのためれて面白いのたっちな感情がくみ取がないのよからない。

の エ

事認可が下りて、

其の

た。既に全線約一六五キロ 山まで延びること に

なっ

事開始ということに決まつ

内の半分だけが三月から工

館林 武井 光彩

解 が次々と胸を打つが次々と胸を打つい風景が目に浮んい風景が目に浮んい思い出いの痛まし

焼き上つた夫の骨

港都市として発展して来た

遊ぶ、ションガイナ」 座敷、鶴と亀とが、舞い

営業部東販課堀光記―

御満足と御理解をして頂け

「この家座敷は、

目出度い

越し願つた業者さんを充分|代えさせて頂きます。

質問や説明なぞを長時間に

でしようが、

ここに其の

わたり行いましたので、

お一節を掲げて新年の御挨拶に

たようでした。

従来水産漁

石巻もまた近代工業都市と

山陽新幹

線

ー三月から工事開始

る

い○はさみ合う骨の白さよ秋い ○はさみ合う骨の白さよ秋

焦燥の句作木の実をつぶ しいる 鵙高音少女丹念に柘本と

朝の富士雪の赤城も従え

長谷川金雄

伊達政宗が天正

佐竹、芦名、

歳末の朝キリノ

バス停にまだ人影や終車 浦和 磯部健一郎 去る たる 残菊や腰ぬけ蜂に陽のあ 落葉すや心にかゝる雲厚 横浜 村松みね代

朝の駅東京森昭男 穂波選

一笠産業俳句

|業地域の||絶えず市場の動きを把握し

カーの継がりが益々重大で みてこれから代理店とメー して発展しつつある現在を は対じられま!…

外はなり

天下無敵

E ta

極意だがるの街の 猿津流の、1

おぬし

候もからりと晴れ上つて、|こにあるいくつかの建前日から気にしていた天|名な登呂遺跡を訪ねた。

十月十六日静岡県日本平遊覧)

からゆつたりと温泉気分に

ひたる。 がらゆつたりと温泉気分に「くるも忘れて歓談した。翌 熱海の夜景に心をひかれな「和気饌々の内に秋の夜の更

故専務取締役村松仁一氏

であつた。

欺いて時を稼いでいたわけ に秘めて本人に偽り世間を を京谷社長は唯一人深く胸

笠 親 和 会

秋

季 旅

行

遅れて到着、なまめかしい宿泊所後楽園へ約二十分程

後外園自慢の会場で開宴、

居ながら一望できる は午後七時よりその

るは

既に決つていたのであ

今にして

ぼ、 それ

林寺任職が湾

笠

忘

年

会

やがて葬

路熱海へと直行今晩

(登呂遺跡を見る)

跡が数年前に発掘され、 弥生式文化の営まれていた

住居、高床式穀

上々のピクニック日和であ

は、

約二千年前静岡平野の

三笠ハゼ釣大会

建物

中央部に当る此の辺一帯に

だそうで、 近其の跡に復元されたもの

田園などを見物して当

時の生活文化をしのんだ。

第四回釣大会は京谷社長他

特別参加の小林 田口池袋サービ

三笠本社の天狗連による|

のよい所へ舟を廻し、船頭

さんの揚げる天麩羅に舌べ

船を寄せ合つて

れた。 林工場長、 ス工場長を加えて総勢十五 つてA、

た。この神社は日光の東照 日本平のパークウェーに到 イで久能山東照宮へ参拝し これよりバスは観光百選 小休止の後ロープウエ

思い浮べながら、海浜に出 三保の松原へ天女の舞などがかり、懸命に糸をたれ次 て謡曲羽衣で知られている 五々として興味 深 く 見 歩|獲物は予想外に多くすつか て羽衣の松の由来など三々|競つた。斯くして正午迄の 午後一時日本平を後にし 晴天に恵まれ、 て、大にぎわいである。なでに数十隻の舟が出て 漁した。風は少々あつたが 々と釣り上げて自慢の腕を 々二隻の舟も他に負けじと 沖合にはす 我い

原本、口、長、 (社長、 田口工場長、 常務、 松下、 磯部

に乗込んで、 待機させておいた貸切バス やがて静岡に到着、 駅に MIKASA SANGYO た。

た。正に一幅の絵である。と其の英姿を見せて 呉れ 澄み切つた秋空にクッキリやくも頂上に雪をいただき 燦々と輝やく秀峰富士が早 員四十六名。三島を過ぎた 頃車窓より日に照らされて (ケーブルカーから日本平 着、

平原の部で第一位となった 宮を小さくした様な感じで

と、日光は此処を模したも びロープウエーでパークウ のだということである。再 ある。聞くところによる エーに戻り昼食。

世界的にも有一寺、竜華寺等の見勿と中にして昼食となつてしまついた質切バス」時間の都合で予定の梅藤ろで昼食となつてしまつ り気を良くし、



午前九時、

沖の釣場を目指して勇躍出 わらかい日ざしの中を船橋 A船の釣り振り 社旗を翻して晩秋のや



経理部長として専ら我

堅のために終始したわけであ

彼の持つ

遂に彼の一生に終止

読み上ぐる言葉も絶え絶え

林工場長の悲涙胸に迫りて

別の辞があり、

更に小林館

は、

常務から社員を代表して惜

谷社長と共に、

厳しい事業

終戦後

彼は其の半生を殆ど京

釣場に戻つて、四時頃迄釣 て午後一時頃から再び元のビールの満を引いた。やが りまくつて見たが、風が冷 に花をさかせながら持参の つみをうち、 獲物の自慢話

た。 に楽しい一 にない大漁に恵れまた非常 で未練を残しながら引揚げ つばり遠のいてしまつたの 来て、獲物の「当り」もさ たくなり、波も高くなつて 今回の釣大会は今まで 日であつた。 坂本記-養中は、 なかつたものである。それ 置されていたほどであっ 代役を勤めて微動だもさせ て銀行や税務署からまで賞 かつて京谷社長が病気休

副社長として其の

は勝てなかつたのである。り生きている以上、病いに

つた病魔は、彼を東大病院 昨年八月突如として彼を襲

×

にも、

た。

しかし、

小林工 星野、 荻川場 である。 た。そこで誰いうとなく京 共に任じていたようであつ 0 だけに、 其のコンビ振りは世間の羨 ら村松専務は名車掌だと、 望の的となつていたくら、 谷社長が三笠号の運転手な よき女房役として自他 いつも京谷社長

の産で、 店に入社し、 横浜の機械輸入商川橋屋商 浜商業専修学校に学び、 谷社長より半年ほど遅れて 彼は愛知県岡崎在藤川 郷里を出て 爾来、 京谷社 から横

正に盲信的で、 谷社長を敬慕することは、 は時既に遅く、

を受けながら成人したので。を受けねばならないことに「ら本堂まで、いくつもの石長に可愛がられて其の指導」の手術台に運んで胃の切開。ばすようであつた。山門か あつた。それだけに彼が京なつてしまつた。其の結果段づたいに左右に並べられ 固く結び合腺を侵していたのであっ 思えばこの時彼の運命

(故村松専務の葬儀①) 葬儀は、

病根は淋巴|た花輪の数々、 りし日の彼の徳をしのぶに 行され、 た盛花と香煙縷々と立ちこ の臨済宗円覚寺派、永田山なつて、横浜市南区永田町 京谷社長自ら葬儀委員長と 好日和で故人のお人柄を偲 絶たなかつた。 知人等会する人々其の跡を める本堂には次々と友人、 夜午後七時から九時まで執 になつた。通夜も同寺で前 宝林寺に於て営まれること 葬儀の朝は、 霊前を埋めつくし これも又在 近頃にない



情から「三笠産業」へ出

なりませんでした。

松さんでした。

「やあ、

「お目出度う」とほほえみ

(東京商業美術家協会々員)

永

井

西銀座の並木通

りの会社

この小高い丘の上からき

こぼるる 秋の日ざしに菊の

最初に逢つ

た人が村 つと村松さんもあの笑顔で

さだかではないが、

ります。

村 松 専 務 逝

たのである。 るものとば

故村松専務の葬儀②) ところがそれから丁度満一

手に抱かれて、

た。其の時、

或は故人を恨む

が如

お姿で出社されただけに吾

々としては、此儘全快され

かり思つてい

を取戻されて、

常と変らぬ

月というものは、

かし此の間の凡そ六カ

(十一月三日千葉県船橋沖にて)

余年、 長として入社されて以来、 古写者として、 あつたそうである。 戦時中は板橋工場に転じ た。昭和十三年六月営業部 れた村松専務は逝去され しく信望の的となつて居ら 京谷社長と在ること四十|は到底解し得ない、 工場長を勤めたことも 我が社創立以来の最 全社員の等る。そんなことから京谷社 何物かが有つたようであ のである。このように あつたのではない こに何か男と男との盟約が たのも今にして思えば、 く彼を営業部長として迎え 長が三笠を創立するや逸早 かと思う 根強い

村松財政とし一肌ざわりのよさと、温厚な し日の京谷 と村松専務 親しまれ、 慈父の如く ら兄の如く 性格は、常 に全社員か る。 符を打つ時が訪れたのであ の故人を慕う節々には万場 それは、病気の再発で

長等の弔辞や弔電披露があ

つて、予定通り滞りなく葬

儀を終了した。

村松さんを

しのぶ

春日部工場長、

加藤笠友会

のであつた。続いて長谷川 の人々をして咽泣せしめた

さんの愛称で彼女等の間 又非常に人気があつ 彼とてもやつば 灯の下にビ 慕われ、 しては、ム ルを手に は直ちに彼に付き添つて、 血をしたのである。急を聞明方数回にわたり多量の吐 東京女子医大へ運び、 いて、かけつけた京谷社長 あつた。彼は八月十五日の

七日午前六時、五十八才を 士等多数医師の必死の手当 あつた。想えば洵に惜しい を受けたのであつたが、 カ月にわたり主治医小坂博 に其の甲斐もなく十一月十 人を失つたものである。 一期として他界されたので × × 遂 宇都宮、 われば、 般の告別式が行なわれた。 列縦隊に本堂下までぎつり め、石畳を踏んで整然と四 会葬者は早くから寺内を埋 かくして午後一時から

十七日正午から られたとのことであつた。 づつ前へ動き始めた。 を今や遅しとお待ちうける りと並んでその扉の開くの は見渡す限り焼香の人又 々お越し下された方々もあ 御様子であつた。後から承 やがて、長蛇の列が少し 静岡方面からも態 遠く大阪、松本、

まつてしまつている。思え人、石段も石畳もすべて埋 、故村松専務の葬儀③)

秋の日ざしはまぶしく保 寺」と言つた。 むしろこの様にたつた一 小高い丘の上に立つと晩日の象に残りました。 人で村松さんと対面出来 んの墓前に立つてみて、 ず、今日こうして村松さ た。 土谷の街々にそそいで居 の銀座、八重洲の頃と違つ の文字が「やあ、永井さ秋の日ざしはまぶしく保 新社屋に移つて以来、昔 の中に「仁道大通信士」 寺の名を 田山宝林|永井さん」と言われた時の|かけるに相違ありますま 限りです。 あの端正な笑顔は不思議と

墓前に供えた白菊の花

の事、今ではどの様な事 の喜びを分ち合いたかつたもうあれは十五年も昔 来得れば村松さんと共にこ 務の面影が鮮明に想い起。剛を補つてあまりあつたあ。と自分に言い聞かせるのた事の方が私には一層専って居られた姿、よく社長の「だ」とそんな事を不思議 されて来る様な気がして 葬儀の日に間に合わて、村松さんと親しく逢い人」と端正に笑つている 笠創業三十周年」とか、出 は今にして思えば口惜しい。山門を振語らう事の出来なかつたの「様でした。 の柔かな笑顔、今年は「三でした。 酒盃を傾けて呵々大笑し なくなつてしまった り返えり、 山門を振り返えり とこしえと 「村松さんは

2

入りする様になったの|するにあまりあるものがあ であろう社長の心中も推察 君なりつるかおく

|禅楽が或は高く或は低く奏||彼こそ実に立派な男であつ||下す湖畔や、それを取り巻 が唱和されて「仁道大通信 |伴僧四名を従えて入堂、厳|同じように付き合 経は、鈴と鉢と太鼓による 々の涙を誘つた。やがて読言われているが、 の遺影が大きく飾られて人 共に、在りし日の村松専務 されたる真新らしい位牌と うな感動を覚ゆるのであつ 都がまざまざと目に映るよ 遠の眠りに就かれる寂光の でられ、彼の御魂が御仏の 士」と帰痕鮮かに書き印る かに「白隠禅師坐禅和讃」 京谷社長起っ 安らかに永に頭が下がるのである。 三宝|ば村松専務ほど敵 ものは棺桶へ入へ から外へ運び出さ **儀を眼のあたり拝見して、** うちは何んとも だろうか、 者を集め得たので 人徳が今日この多 ように愛せる村松 た方はない。 人の どん [専務の御 い、同じ 成のなかつ て見ない 上野「東天紅」に於て開催 合つた。 生という。括りとして恒例の忘年会を はないの くの会葬 0

そこで、京谷葬儀委員長 り、五年勤続の総務課受付かに霊柩車に納められた。 作つて欲しいとの挨拶があくつもの石段を降りて、静 て、新しい年への気構えを社員達の肩に担われて、い 忘れ良い事は胸に 仕 舞っ |族達の涙に送られて、本堂|今年はいろんな意味で多難|者は二次会へ或る者は家路||告別式は終つた。柩は遺|た。宴会に先立ち社長より|中を各々散々として、或る ながら宝林寺を後に久保山 期くして村松専務の遺骸とであつた。そこで京谷専 たと今更の如く彼の偉大さく上野の夜景は寒冷の空に 火葬場へ向うのであつた。 兼ねた謝辞が述べ 族に代つて、 大勢の人々に見送られ一務の音頭に依り全員起立乾 長女美佐子さん等遺養のため二十五日限り退社 村松未亡人 鄭重な挨拶をすることになったので、 に見して、|の八階「東天の間」より見|三拍子で今年の忘年会を締今彼の盛|建つた近代的な「東天紅」|で小林工場長の音頭に依り えないとした。上野不忍池畔に聳え れ、若いな年であつたが、悪い事は られた。 (田生) 長男憲一係の渡辺邦子嬢が、病気静感委員長り、五年勤続の総務課受付 をつぎつぎに平らげ、係の 杯した。運ばれてくる料理 の送別の意も含めてとのこ つばい食べて、程良く酔 人も天手古舞で、 一ときわ美しく輝いてい

余るように其の心境を吐露から、

くその功績を讃えて尚思い く、或は詫びるが如く、よ

居並ぶ人々の心を強く打つ

した弔辞の一言一句には、

君、

ものがあつた。

続いて吉田

上気した顔を紅潮させ 其

(上野「東天紅」にて)

へと歩を向けた。

めた。 雨が寒風と共に吹きつける 夜も次第に更けてきたの 午後九時みぞれまじりの

昭和四十一年度最後の締|ながら、遠慮や気兼ねなど すつかり忘れて大いに語り

(十二月二十日上野東天紅にて)

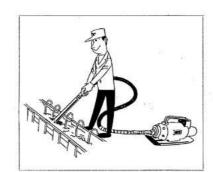
42年の三笠が誇る新鋭機

 \star

NEW TYPE, INTERNAL CONCRETE VIBRATOR FLEXIBLE SHAFT DRIVEN FROM TOW POLES INDUCTION MOTOR.

●MVI-GM 型 コンクリートバイブレーター(錐振型内部振動機)新製品





IMPACT TAMPING RAMMER WITH SELF CONTAINED, RUGGED, TROUBLE-FREE, 3 PS GASOLINE ENGINE.

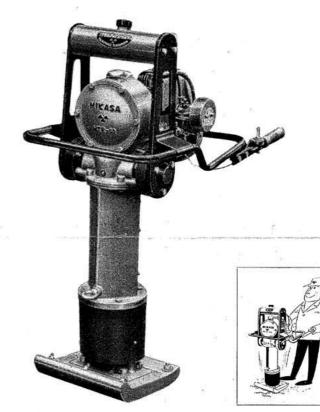
●MTR-80型 タンピングランマー(路面輾圧機)新製品

VIBRATING SOIL COMPACTOR. FLAT BOAT TYPE, 4 PS GASOLINE ENGINE DRIVEN.

●MVCS-4型 バイブロコンパクター (路面輾圧機) 新製品







HAND GUIDE TYPE IMPACT VIBRATING ROAD ROLLER, DRIVEN FROM 6 PS GASOLINE ENGINE.

●MRV-10型インパクトローラー(小型振動ローラー)改良品

